

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [大阪市立新森小路小学校] 担当教諭名 [下倉 葵] (6年1-3組 118名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Zongshan Elementary School] 担当教諭名 [Hui-Ju Wen]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	SDGsを学ぼう	21

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	DELIVERING EQUALITY AND RESPECT MAKES A PERFECT WORLD
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	人種や性別に関係なく、お互いに認め合える世界をみんなで作りたいという想いを込めた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
昨年度よりSDGsの勉強に取り組んでいたもので、その集大成として、他国の子ども達とリアルタイムで比べながら学習ができたので、子ども達の学習への深まりがあった。また、自国の課題しか知らなかった子ども達からすると視野が広がり、また日本での課題と台湾との課題を比べることで同じようなことで悩んでいたことを知れていたようであった。また、他国の子としゃべる機会が初めての子が多く、良い経験になったと述べている子がたくさんいた。	6年生全員で取り組んでしまったので、全クラスの時間をそろえて取り組むのが大変で、一つ一つの活動を進めるのに時間がかかってしまった。また、子ども達の中で深まりの差が大きく出てしまった。日本側が進めていかなければならなかったが、台湾側が経験も豊富でリードしてもらうことが多くなってしまった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
非常に台湾のことを意識する子が増えた。また、日本と比べながら話を聞いていたので、似ているところや違うところを知れて日本のことも知れる要因になっていた。	教師も広い視野で物事を見られるようになった。また、自国と他国を比べる視点で授業を進めることができた。なるべく英語でコミュニケーションをとろうと頑張ることができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを使い、日本にある不平等について調べる 共有に向けて自校紹介、大阪府の紹介をパワーポイントで作成 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾との交流ということもあり、自分の国の不平等についてしっかりと調べていた。 日本にも貧困やLGBTQの問題があることに驚いていた。 問題を知ることによって、自分たちの身の回りにも問題があることに気付いていた。 	総合
共有 相手と意見交換	8月 9月	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の小学校とビデオ会議 日本の課題についてパワーポイントの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 初めて台湾の子達と話してみても、今後の活動への期待を持っているよう。 台湾の課題を聞いて、日本と比べながら考えることができるようになった。 	総合
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の小学校とビデオ会議 台湾と日本で共通の課題から3つの柱に絞る →ジェンダー・貧困・人種 日本は人種があまりピンと来なかったため障がい者について学び、パワーポイントを作成 ワークシートを使い、クラスごとにジェンダー・貧困・障がいについて調べる 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の子達と話合うことで、世界の人達の協力が必要であるということに気付いていく児童が多かった。 自分たちの身の回りでも不平等なことが多いことに気付いていた。 	総合
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 台湾側と案を出し合い、絵の内容の決定 日本側の壁画完成 	<ul style="list-style-type: none"> どのような課題を描き、どのような未来にしたいかを主体的に考えることができていた。 絵の色を塗りながら、肌の色を考えたり、理想の世界はこんなのがいいなど話したりしながら制作することができた。 	総合
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 台湾側の壁画が完成し、全体が完成 最後のビデオ会議 →歌をうたったり、壁画の完成を報告したり、感想や質問を伝えたりした 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の子達と一緒に歌をうたい、非常に楽しそうであった。 壁画への感想や質問を考えて活発に意見交換ができた。 別れが惜しいようであった。 	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	台湾との交流後、自分たちの国と似ていることもあるんだなあ子ども達が言っていたのを聞いたから。また、自国と他国を比べながら話している場面が多々あったから。
主体的に考え行動する力	3	118名で取り組んだため、非常に主体的に取り組めた児童と、教師にやらされてしまっている児童との偏りがあったから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	そのような場面が見られなかったから。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	ビデオ会議の際、積極的に話していたから。また、台湾側と決めた絵を協働で描き上げることができ、一人一人絵に取り組むことができたから。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	一人一人絵を描きながら、肌の色を考えるなど、メッセージを考えることができていたから。